



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 ケンコーマヨネーズ株式会社

コード番号 2915 URL <https://www.kenkomayo.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長 （氏名） 島本 国一

問合せ先責任者（役職名） 取締役 副社長 （氏名） 寺島 洋一

TEL 03-5941-7682

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	67,103	7.2	2,326	432.8	2,426	421.5	1,651	480.5
2023年3月期第3四半期	62,597	8.7	436	△67.4	465	△65.0	284	△67.9

（注）包括利益 2024年3月期第3四半期 2,077百万円（357.6％） 2023年3月期第3四半期 453百万円（△60.2％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	102.40	—
2023年3月期第3四半期	17.48	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	68,259	38,564	56.5
2023年3月期	62,229	36,794	59.1

（参考）自己資本 2024年3月期第3四半期 38,564百万円 2023年3月期 36,794百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
2024年3月期	—	10.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	30.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 配当予想の修正については、本日（2024年2月13日）に公表いたしました「2024年3月期 通期連結業績予想の上方修正及び配当予想修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,490	6.2	2,800	—	2,900	—	2,390	392.2	148.44

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 連結業績予想の修正については、本日（2024年2月13日）に公表いたしました「2024年3月期 通期連結業績予想の上方修正及び配当予想修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社、 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	16,476,000株	2023年3月期	16,476,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	350,665株	2023年3月期	350,578株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	16,125,388株	2023年3月期3Q	16,275,422株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日まで）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、飲食や旅行などのサービス消費やインバウンド需要の回復が進みました。一方で、日米の金利差による円安やウクライナ情勢長期化の影響など、不確実性が残る状況が続いております。

また、食用油や鶏卵価格は落ち着きを見せ始めてきておりますが、原材料価格やエネルギーコストは変わらず大きな負担となっております。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、次の成長へ向けた中期経営計画『KENKO Transformation Plan』の最終年度を迎えております。この中期経営計画は、前中期経営計画のCSV経営の考え方を継続し、社会と企業の共存を目指すために「企業価値向上と持続的な成長へ向けた変革」を基本方針とし、次の4つのテーマ及びサステナビリティ方針を軸に取り組を進めております。

< 4つのテーマ >

① B to B to C

消費者の皆様当社を直接知っていただく機会を増やす

② イノベーション

将来の地球環境を見据え、環境保全を意識した中からNew KENKOを創り出す

③ 構造改革

基盤事業の成長を目指すための改革実行

④ グローバル

グローバル事業の基盤強化

< サステナビリティ方針 >

当社グループは、持続可能な社会の実現に向け、「環境」「社会」「健康」への貢献を指標としたサステナビリティ方針を定め、次の5つの重要課題に取り組んでおります。

- ① 温室効果ガス ② 原料 ③ 容器・包材 ④ 健康 ⑤ 人財

当第3四半期連結累計期間における売上高及び利益の概況は以下のとおりであります。

(売上高)

売上高につきましては、経済活動が正常化に向かう中、観光地における外国人旅行者が増加したことなどの効果もあり、外食分野を中心に売上高の回復が進み、特にファストフード向け商品を中心に売上が増加した結果、前年同四半期比で増収となりました。

(利益)

利益につきましては、原材料価格やエネルギーコストが引き続き高い水準で推移いたしましたが、前連結会計年度より進めてまいりましたマヨネーズ類の価格改定が浸透したことに加えてタマゴ加工品及びサラダ・総菜類の価格改定を実施したこと、また生産効率の向上等の収益改善を進めたことにより前年同四半期比で増益となりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は67,103百万円（前年同四半期比4,505百万円の増加、7.2%増）、連結営業利益は2,326百万円（前年同四半期比1,889百万円の増加、432.8%増）、連結経常利益は2,426百万円（前年同四半期比1,961百万円の増加、421.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,651百万円（前年同四半期比1,366百万円の増加、480.5%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

(調味料・加工食品事業)

サラダ・総菜類につきましては、価格改定効果に加えて、主力商材であるポテト類やB to B to C戦略の推進による小容量サラダの増加等により増収となりました。

タマゴ加工品につきましては、前連結会計年度における高病原性鳥インフルエンザの全国規模での感染拡大に伴い、原料の安定確保が難しいことから実施しておりました供給制限の解除により売上高の回復を進めてまいりましたが、減収となりました。

マヨネーズ・ドレッシング類につきましては、2022年10月から進めてまいりました更なる価格改定の効果や量販店向けマヨネーズの増加等により増収となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は52,345百万円（前年同四半期比4,001百万円の増加、8.3%増）、セグメント利益は1,610百万円（前年同四半期は116百万円のセグメント損失）となりました。

(総菜関連事業等)

総菜関連事業等における経営環境は、量販店等の中食から外食へ需要が回帰する傾向にありましたが、価格改定の着実な実施に加えて、生鮮売り場向け商品などの販売カテゴリ拡大、宅配などの販売チャネル拡大、また米飯、おつまみ惣菜等の商品拡大を進めたことにより、売上高が増加し、利益についても増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント売上高は14,063百万円（前年同四半期比536百万円の増加、4.0%増）、セグメント利益は806百万円（前年同四半期比190百万円の増加、30.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、68,259百万円（前連結会計年度比6,030百万円の増加、9.7%増）となりました。これは主に、売掛金が4,313百万円、現金及び預金が1,750百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、29,694百万円（前連結会計年度比4,259百万円の増加、16.7%増）となりました。これは主に、買掛金が3,724百万円、電子記録債務が322百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、38,564百万円（前連結会計年度比1,770百万円の増加、4.8%増）となりました。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、56.5%（前連結会計年度比2.6ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結決算を踏まえ、高病原性鳥インフルエンザの発生状況や、食用油や鶏卵価格が落ち着きを見せ始めたことを鑑み、2023年5月15日に公表した数値を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2024年2月13日）公表いたしました「2024年3月期 通期連結業績予想の上方修正及び配当予想修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,289	14,039
受取手形	65	358
売掛金	13,218	17,532
商品及び製品	2,514	2,607
仕掛品	15	13
原材料及び貯蔵品	1,092	1,752
その他	456	337
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	29,651	36,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,688	10,175
機械装置及び運搬具(純額)	7,711	6,428
土地	6,021	6,021
建設仮勘定	0	1
その他(純額)	315	278
有形固定資産合計	24,738	22,904
無形固定資産	807	1,191
投資その他の資産		
投資有価証券	5,582	6,203
繰延税金資産	178	100
その他	1,300	1,243
貸倒引当金	△30	△25
投資その他の資産合計	7,031	7,521
固定資産合計	32,577	31,618
資産合計	62,229	68,259

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,479	15,203
電子記録債務	845	1,168
1年内返済予定の長期借入金	1,144	546
未払法人税等	228	478
その他の引当金	456	227
その他	3,931	5,207
流動負債合計	18,087	22,831
固定負債		
長期借入金	4,321	3,925
退職給付に係る負債	347	325
その他	2,679	2,612
固定負債合計	7,348	6,863
負債合計	25,435	29,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,424	5,424
資本剰余金	5,691	5,691
利益剰余金	24,635	25,980
自己株式	△530	△530
株主資本合計	35,221	36,566
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,573	1,979
為替換算調整勘定	15	35
退職給付に係る調整累計額	△15	△15
その他の包括利益累計額合計	1,572	1,998
純資産合計	36,794	38,564
負債純資産合計	62,229	68,259

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	62,597	67,103
売上原価	51,177	53,739
売上総利益	11,419	13,364
販売費及び一般管理費	10,983	11,037
営業利益	436	2,326
営業外収益		
持分法による投資利益	—	29
受取利息及び配当金	38	35
雇用調整助成金	0	—
その他	79	88
営業外収益合計	118	153
営業外費用		
支払利息	46	38
持分法による投資損失	25	—
その他	17	15
営業外費用合計	89	53
経常利益	465	2,426
特別利益		
持分変動利益	45	—
投資有価証券売却益	29	—
補助金収入	7	8
特別利益合計	82	8
特別損失		
固定資産除却損	2	2
その他	0	—
特別損失合計	2	2
税金等調整前四半期純利益	545	2,432
法人税等	261	781
四半期純利益	284	1,651
親会社株主に帰属する四半期純利益	284	1,651

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	284	1,651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	406
退職給付に係る調整額	2	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	180	19
その他の包括利益合計	169	426
四半期包括利益	453	2,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	453	2,077

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

連結子会社における税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	調味料・ 加工食品 事業	総菜関連 事業等	計				
売上高							
外部顧客に対する売上高	48,344	13,527	61,871	726	62,597	—	62,597
セグメント間の 内部売上高又は振替高	751	5,516	6,267	—	6,267	△6,267	—
計	49,095	19,043	68,138	726	68,864	△6,267	62,597
セグメント利益又は損失(△)	△116	615	499	△10	488	△23	465

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ショップ事業、海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△23百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	調味料・ 加工食品 事業	総菜関連 事業等	計				
売上高							
外部顧客に対する売上高	52,345	14,063	66,408	694	67,103	—	67,103
セグメント間の 内部売上高又は振替高	815	5,381	6,197	—	6,197	△6,197	—
計	53,160	19,445	72,606	694	73,300	△6,197	67,103
セグメント利益	1,610	806	2,417	32	2,449	△23	2,426

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ショップ事業、海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△23百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループの売上高は、顧客との契約から生じる収益であり、当社グループの報告セグメントを財又はサービスの種類別に分解した場合の内訳は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	調味料・ 加工食品 事業	総菜関連 事業等	計		
サラダ・総菜類	13,559	—	13,559	—	13,559
タマゴ加工品	15,977	—	15,977	—	15,977
マヨネーズ・ドレッシング類	17,828	—	17,828	—	17,828
フレッシュサラダ・和惣菜等	—	13,527	13,527	—	13,527
その他	978	—	978	726	1,704
外部顧客への売上高	48,344	13,527	61,871	726	62,597

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ショップ事業の売上高を表していません。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	調味料・ 加工食品 事業	総菜関連 事業等	計		
サラダ・総菜類	16,742	—	16,742	—	16,742
タマゴ加工品	13,922	—	13,922	—	13,922
マヨネーズ・ドレッシング類	20,529	—	20,529	—	20,529
フレッシュサラダ・和惣菜等	—	14,063	14,063	—	14,063
その他	1,151	—	1,151	694	1,846
外部顧客への売上高	52,345	14,063	66,408	694	67,103

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ショップ事業の売上高を表していません。